

南樺太の野鳥において

高病原性鳥インフルエンザの感染を確認!!

- 7月下旬、南樺太の死亡野鳥（ウミスズメ科）において、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1亜型）感染が確認されました（死亡274羽）。
- 昨シーズン、国内においては、野鳥・家きんともにこれまでで最も早い時期に感染が確認され、過去最多の発生（26道県84事例）になりました。秋の渡り鳥飛来に備え、予防対策の継続をお願いします。

飼養家きんを守るため、次の事を再確認しましょう！

- 野生鳥獣が家きん舎に侵入する壁や床等の隙間の修繕
- 防鳥ネットの破損の補修
- 家きん舎専用の衣服・長靴の着用
- 入退場時の車両消毒の徹底
- 家きん舎/農場周辺の消毒薬（消石灰等）散布の徹底
- 家きんの看視の強化と早期発見・通報
- 消毒薬の希釈濃度を確認

逆性石けん系消毒薬（パコマ、ロンテクト、アストップ等）は、低温下で効果が減弱します。冬季は、用法範囲内の高濃度で使用。アルカリ化して使用方法も有効です。詳しくはお問い合わせください。

北海道十勝家畜保健衛生所

電話：0155-59-2021

夜間・休日TEL：0155-26-9005（十勝総合振興局）